



補習校だより

平成25年度 第30号

平成25年12月7日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

師走

校長 永井 晋

サンクスギビングの連休も終わり、アメリカは一直線に年末のホリデーシーズンに向かって動いています。街にはイルミネーションが施され、ラジオやテレビからはクリスマスソングが流れています。ちょっと早すぎるきらいもありますが、そんなものなのでしょう。日本はというと、師走に入り、お正月まではもう少し時間があるといったところでしょうか。やはり街にはイルミネーションがあふれていますね。アメリカほどハロウィンやサンクスギビングを意識しないので、日本の方がクリスマスの準備は早いくらいですね。私が子供の頃の日本にももちろんクリスマスはありましたが、今ほど派手ではありませんでした。それよりも日本の伝統的な行事が色濃く残っていたのを覚えています。12月は師走といい、それこそ先生が走るほどの忙しさ（本当の由来は違うみたいですが）です。お正月を迎えるに当たり、まずは大掃除を行います。子供達もこれに借り出され、役割を与えられました。また、大人達はお歳暮を準備し、お世話になった方へ感謝を表します。さらには年賀状を書き、1年の始めの挨拶を準備します。そして、母親は（今では母親とは限りませんが）おせち料理の準備をします。冬至を迎え、柚子湯につかり、大晦日を迎え、年越しそばを食べる。そうしている内に除夜の鐘が聞こえてきて、新年を迎える。どの家庭でもこんな風に過ごしていたのではないのでしょうか。いつの間にかキリスト教徒ではない人もクリスマスを祝い（本当の意味で祝っているのではないのですが）、大掃除もしなくなり、柚子湯にも入らなくなってきました。おせち料理でさえ準備しない家庭も増えているそうです。私たちはアメリカに住んでいます。日本にいないからこそ、子供達に日本の伝統行事を教えてあげてください。まずは子供に大掃除の役割を与えてあげてください。



写真は安全講話とサッカー教室の様子

子供達に日本の伝統行事を教えてあげてください。まずは子供に大掃除の役割を与えてあげてください。